

3月13日を含む1週間は、ロータリーが定める4つの「特別週間」のひとつで「世界ローターアクト週間」です。

ローターアクトクラブは、地元や海外での奉仕活動に関心がある18歳以上を対象にロータリークラブが提唱する奉仕クラブで、地域社会のリーダーと意見交換をしたり、リーダーシップと専門的なスキルを育んだりしながら、奉仕活動を行います。以前は30歳までという年齢制限がありましたが、2019年に年齢制限が撤廃され、さらに、RIの加盟クラブとなり、ローターアクトにはロータリアンと同等の権利が与えられています。

これとは別に、それよりも若い12歳から18歳までを対象に、ロータリークラブが支援して国際的な奉仕活動を行うインターアクトクラブがあります。対象の年齢からわかるように、これは地域の中高등학교のクラブ活動として、その地域のロータリークラブが支援して設立され活動しています。インターアクトクラブはRIの会員ではありません。

ローターアクトクラブは2019年にRIの会員になりましたが、これは、ローターアクトクラブの会員とロータリアンは同じステータスであるということです。平等の精神が重視されるロータリーにおいて、会費も異なる両者を同じように扱っていいのかという疑問の声もありますが、ローターアクトとロータリアンは同じステータスであるという事実は認識しておいていただければと思います。

この、ローターアクトクラブのRI加盟によって、それまで約120万人とされていた世界のロータリアン数は、ローターアクトの20万人が加わって、現在は140万人とされていることは、地区大会などの報告でご存じかと思います。会長卓話でお伝えしたように、これはRIが積極的に奉仕を進めるための会員増強の一環だと解釈してもいいかと思います。

このような近年活発化しているRIの会員増強の動きは、それを悪く言う方もいらっしゃいますが、なぜ会員増強しなければならないのか、まずはこのところをしっかりとご理解いただきたいと思います。その理由は、世界で有益な奉仕活動を実施するには、資金が必要で、資金を集めるためには、会員増強が必要だからです。会員増強は、私たち個人あるいはクラブレベルではどうも達成できない大規模なプロジェクトの基盤となるわけです。是非、できる限りの協力をしていきたいものです。